

## 病態に応じた最良な医療提供のための転院搬送について

全国的に高齢化の進展とともに、救急搬送患者が増加しております。急性期病院(半田市立半田病院)は緊急・重症な状態にある患者さんを受け、手術等の高度で専門的な医療を提供する病院となっています。そのため、一般的に「介護力・リハビリ力」が相対的に弱くADL(日常生活動作)の悪化を指摘されています。当院では、地域の病院と日頃より連携しており、患者さんのADLやQOL(生活の質)の低下を少しでも軽減できるよう努めております。当院を受診し入院が必要と判断された患者さんについて、連携する地域の病院でも『十分対応可能』と判断した場合、当院医師といずれかの連携病院と連携を図り転院搬送を提案させていただくことがあります。入院先について、ご希望に添えない可能性もありますが、限りある医療資源を維持するためにご理解、ご協力をお願い申し上げます。

半田市立半田病院 院長

【連携先病院一覧】(2024年6月現在)

医療機関名	所在地
① 小嶋病院	東海市
② 知多小嶋記念病院	知多市
③ 西知多リハビリテーション病院	知多市
④ 常滑市民病院	常滑市
⑤ 半田中央病院	半田市
⑥ 石川病院	武豊町
⑦ 杉石病院	武豊町
⑧ 知多厚生病院	美浜町
⑨ 渡辺病院	美浜町
⑩ 小林記念病院	碧南市

※病態によっては、有床診療所とも連携させて



正面玄関ロビーに掲示しているポスターです

### ■2024. 8. 8

高齢の患者さんの救急搬送が増加しています。特に内科系の救急患者さんが多く、尿路感染症・誤嚥性肺炎を繰り返す患者さんです。そんな中、診療報酬改定で今年6月から【病態に応じた転院搬送】の仕組みが始まりました。

当院救命救急センターでは基本的に診療のお断りはしていませんので、どうしても救急搬送される患者さんが集中します。ただ、急性期医療を提供するには、医師・看護師・薬剤師等のコメディカルスタッフの確保やベッドの確保が必要です。当院は全てが潤沢な状況ではなく、高齢患者さんに対応できる「治し支える医療」が可能な近隣の医療機関との連携が必要となります。当院で診断し入院加療が必要と判断された高齢患者さんを連携先の医療機関で治療を開始するシステムが今回紹介した仕組みです。仕組みの構築には患者さんや御家族の方々の御理解があつての対応ですのでまだまだ周知は足りないなあと感じています。しかし、事前に連携確認した医療機関と共に知多半島地区の医療提供体制を守っていきたいと思っています。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。